

松くい虫発生予察事業

育林・林産班 東江 賢次

1. はじめに

この調査は、マツノマダラカミキリムシ（以下「カミキリムシ」）成虫の発生活長を調査することにより、カミキリムシ成虫の羽化脱出時期と気象条件との相関からカミキリムシ成虫の羽化脱出時期を推定し、薬剤散布及び伐倒駆除時期の決定等に役立てるものである。

2. 方法

カミキリムシ幼虫が生息しているリュウキュウマツ枯死木を伐倒・玉切りして、2019年3月末までに森林研究センター構内に設置した網室に搬入し、以後、カミキリムシ成虫の羽化脱出消長を調査した。

3. 結果

カミキリムシ成虫の発生活長調査の結果を図-1に示した。発生総数は713頭で、羽化脱出初日は2019年4月25日、50%羽化日は2019年6月6日、羽化脱出終了日は2019年7月25日であった。

2018年に比べ羽化脱出初日は5日遅く、50%羽化日は2日遅く、羽化脱出終了日は8日遅かった。過去12年間の羽化脱出初日、50%羽化日、羽化脱出終了日、発生総数については、表-1のとおりである。

また、発育限界温度を12.5℃とし、3月1日を起算日とした有効積算温度は、羽化脱出初日が411℃・日、50%羽化日は932℃・日、羽化脱出終了日は1,660℃・日であった。

なお、有効積算温度の算出に用いた気象データは、名護測候所のデータによる。

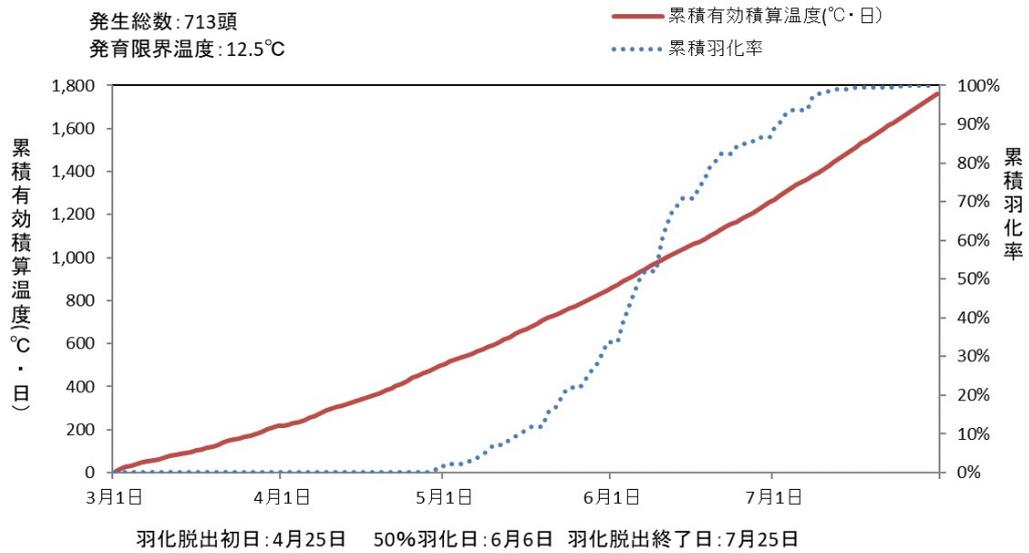


図-1 マツノマダラカミキリの発生消長

表-1 当年及び過去12年間のマツノマダラカミキリ成虫の羽化脱出日、発生総数

年	羽化脱出初日	50%羽化日	羽化脱出終了日	発生総数
2019 (H31,R1)	4月25日	6月6日	7月25日	713
2018 (H30)	4月20日	6月4日	7月17日	282
2017 (H29)	4月25日	5月26日	6月21日	132
2016 (H28)	5月2日	5月20日	6月16日	152
2015 (H27)	4月16日	6月5日	7月3日	309
2014 (H26)	4月22日	6月16日	7月13日	310
2013 (H25)	4月15日	5月21日	6月30日	143
2012 (H24)	4月21日	6月8日	6月30日	282
2011 (H23)	5月10日	6月14日	7月17日	570
2010 (H22)	4月19日	6月19日	7月23日	930
2009 (H21)	4月14日	5月20日	5月29日	211
2008 (H20)	5月2日	6月10日	7月10日	877
2007 (H19)	4月14日	6月3日	7月17日	194